

新闻话语

安倍经济学

最近，大家是否通过新闻等媒体听到「アベノミクス」（安倍经济学）这个词呢？这是将安倍总理大臣的“安倍”和英语的“经济学”两个词的词根合二为一造出的新词，这似乎是媒体想出来的。据说通货紧缩是导致日本经济长期不景气的元凶。所谓通货紧缩，就是指物价持续下滑这样一种现象。物价下滑，企业的收支就会减少，结果员工的工资便跟着降低，失业人员也会增加。这样一来，人们也就不愿买东西，最终导致经济不景气。安倍经济学就是以安倍总理为首推行一系列的经济措施，以遏制持续了十多年的通货紧缩，从而使日本经济走出低谷。

安倍经济学的内涵包括“三项内容”。第一项是“紧急财政出动”。也就是把国家的钱投入到建造公路及桥梁等公共事业中（建设居民经常利用的桥梁路段等工程）。其流程是：政府与市町村等地方政府一道，在各地请施工单位施工，接到施工要求的单位便会为施工而招人。被招的人因为有了工资，于是增加购物数量。商品卖得动了，企业的收支便会好起来，于是员工的工资也会提升。这样一来，东西越来越好卖，人们越来越有购买欲，结果，物价上涨，从而脱离通货紧缩。与通货紧缩相反，指物价上涨的情形被称为通货膨胀，适度的通货膨胀被认为对经济发展有好处。

ニュースのことば

アベノミクス

最近、ニュースなどで「アベノミクス」という言葉を耳にしたことがあるだろうか。安倍総理大臣のアベと英語のエコノミクス（経済学の意味）とを合わせた造語で、マスコミが考へ出したらしい。長く続く日本の不況の元凶は、デフレだといわれる。デフレとは、物の値段が下がり続けることだ。物の値段が下がれば企業の収入が減り、その結果、給料が下がったり、失業者が増えたりする。すると人々は物を買わなくなり、景気が悪くなる。アベノミクスは10年以上続くデフレを阻止し、落ち込んだ日本の経済を良くしようと、安倍総理が音頭を取って進める経済政策をいう。

アベノミクスの中身は「3つある」。一つめは「財政出動」だ。つまり、国のお金をどうろ道路や橋などを造る公共事業（住民がよく利用しているものを造る仕事）に使うことだ。政府が市町村といっしょに各地で工事を発注すると、工事の注文を受けた建設業者は、作業をするために人を雇う。雇われた人は給料が入るようになったので買い物を増やす。物が売れれば企業のもうけが増え、働く人の給料は増える。そうなれば、ますます買い物が増える。多くの人が物を欲しがるようになった結果、物の値段が上がり、デフレから脱却できるというわけだ。デフレの反対に物価が上がり続けることをインフレというが、適度なインフレは景気をよくすると考えられている。

第二项是“金融缓和政策”。即增加货币的国内流通数额。据说安倍总理认为物价之所以下滑，其中一个原因是似乎是钱在人们的经济生活中流动得不够充分。因为钱的数量不够，所以人们不想花钱。那么，就去增加钱好了。而增钱的办法是由日本银行（日本的中央银行，也是唯一可以发行纸币的银行）大量买进民营银行所持有的国库券（由国家发行的借款证明）。民营银行将卖国库券所获得的收入借给企业或个人，企业用借到的钱建工厂、增加雇员（投资）。而老百姓要是买车及住宅等高额商品的话，就可以期待整个社会的投资及购买欲都会出现回升。

第三项是“成长战略”。即设想一套让日本经济成长的政策。其内涵为：放宽束缚企业开展经济活动的规则规定（被称为放宽规制），扶持、开拓今后可望有成长势头的产业及领域并为其提供各种支援。如果这一举措成功的话，那么赚到钱的企业其纳税额就会大幅增加。而到底扶持怎样的产业，据说专家们正与政府就具体内容进行着商榷。

目前，安倍经济学可谓迎来了开门红，人们对它也充满期待。但是，并非没有担忧之声。为了促活公共事业，国家需要贷借巨款，而日本已经背着1000万亿日元这样一身接近天文数字的债。成长战略要是不成功，国家要是无法从企业收缴大量税金的话，这些债根本就没

二つ目は「金融緩和」といって、国内で出回っているお金の量を増やすことだ。安倍総理は、物の値段が下がるのは、世の中にお金が十分に出回っていないことが一因だと考えているらしい。お金の量が少ないから、皆使いたがらない。そこでお金を増やせばいいというわけだ。その方法は、日本銀行（日本の中央銀行、唯一紙幣を発行できる）が、民間銀行の持っている国債（国が発行する借金の証文）を大量に買い取ることだ。民間銀行は国債を売って得たお金を、企業や人などに貸し出す。企業はそのお金で工場を建てたり、社員を増やしたりする（投資）。人々も車や住宅など高価な物を買うようになり、社会全体で投資や買い物が増えるだろうと期待されている。

三つ目は「成長戦略」といって、日本が成長するための政策を考えることだ。その中身は、企業活動の邪魔になっているルールをやわらげたり（規制緩和とう）、今後成長が期待できる産業分野を育てるために、いろいろな支援をしたりすることだ。これが成功すれば、お金をもうけた企業がたくさん税金を払ってくれるようになるはずだ。どんな産業分野を育てるのかなど、具体的な内容については専門家といっしょに政府が検討するそうだ。

目下、アベノミクスの滑り出しは順調で、人々の期待感は膨らんでいる。だが、その一方で、懸念する声も無いわけではない。公共事業のために、国は巨額の借金をしなければならない。すでに1000

有偿还的可能。因此，有人担心“要是日本不能脱离通货紧缩、实现经济成长，那么安倍经济学留给日本的只不过是一座堆积如山的借债条而已。”

安倍经济学也有副作用，那就是日元大幅贬值（指日元与外汇兑换时价值变低。比如：要是1美元=80日元，但如果1美元=100日元，便是日元贬值）。由于日元贬值，因此造成来自海外的进口物品涨价，事实上原油已经涨了不少。4月、5月，从电费开始，一直到煤气、食品等等，各种东西都将先后涨价。也就是说物价上涨于先。尽管大企业露出了提薪的苗头，但据说中小零细企业提薪的日子还遥遥无期。另外，国家将物价上涨率定在2%，但是物价一旦出现上涨势头，就没有人知道它会不会只停留在2%这个水平内。

近来，整个社会有了一点儿活跃的气氛，但，不知安倍经济学到底能否给我们的生活带来福音呢？（H）



兆円という天文学的数字の借金を抱える国なのに。成長戦略が成功して、企業からたくさん税金が入るようにならないと、借金を返せる見通しが立たない。だから「仮にデフレからの脱却や経済成長を実現できなかったとき、アベノミクスは借金の山だけを残すことになる」と心配する人もいる。

アベノミクスには副作用もある。円安（外国の通貨に対して円の価値が低くなること。例えば、1ドル=80円だったのが、1ドル=100円になったら円安）が進むことだ。円安のせいで、海外からの輸入品は値上がりする。すでに原油はかなり上がった。4月、5月は電気、ガスをはじめ、食料品などの値上げが相次ぐ。物価が先に上がっていく。大企業は給料も少し上がる気配だが、「中小零細企業の給料が上がるのには、いつになるかわからない」といわれている。また、国は物価上昇の目標を2%とした。しかし、一旦上昇し始めた物価を2%程度で止めるができるのかは、誰にもわからない。

最近世の中が、すこしだけ元気になった気がする。だが、果たしてアベノミクスは、私たちの暮らしに福音をもたらしてくれるだろうか。（H）